

## 平成 27 年度 事 業 報 告

【特別養護老人ホーム 桃山台ホーム】

【桃山台ホームショートステイサービス】

### <介護職員>

#### 1. 基本方針

##### [2 階]

- ・ 担当ご入居者の変化や問題に気付き、早期に対応、発信出来る職員と、言われなければ気付けない職員との差が大きく、介護職員としての意識の持ち方が今後も課題である。

##### [3 階]

- ・ 職員間での連携は、ある程度業務内・会議内で話し合いを行い取り組む事が出来、改善し、よりよいサービスの提供が出来たと思う。
- ・ 職員全員が介護職のプロとしての意識が充分ではなく、基本的な部分が抜けている事も多い。良い介護を目指すため、一つ一つの改善点を直していく必要がある。

#### 2. 介護計画・相談援助

- ・ 日常生活を安心して過ごせるように、ご入居者の個別ニーズに合わせたプラン作りを行った。
- ・ 職員間で統一したケアが提供出来るよう、プラン内容の周知徹底を図り、定期的にモニタリングを行う事でプランの見直しができた。
- ・ ご入居者やご家族の意向を伺うように努めているが、はっきりとした意向や思いが聞ける事はほぼなく、職員がニーズを拾い上げる形となっている。
- ・ ショートステイご利用の方も 6 ヶ月を目処にプランを更新し、施設での生活を安心して過ごして頂けるよう努めた。
- ・ 入所要件が原則要介護 3 以上の方となり、申込みの方の内容も対応が難しい方が増えている。申込者数としてはかなり減っており、入居者確保が難しい一年であった。
- ・ ショートステイ利用率も低下している。新規ご利用者を確保していく必要性を感じているが、職員の受け入れ態勢が充分にない事によりお断りしたり、受け入れ時期を調整したりしている現状である。

#### 3. 行事・レクリエーション

- 4月 お花見 バイキング (パン) /お料理クラブ (お好み焼き)
- 5月 遠足 (須磨水族園) (3名) バイキング (デザート)  
お料理クラブ (クレープ)
- 6月 バイキング (パスタ)  
野球観戦 (ほっともっとフィールド神戸) (2名)

- 7月 七夕 バイキング (中華)
- 8月 夏祭り (神戸大学学生による「ちんどんや」)  
お料理クラブ (ジュース・シャーベット)
- 9月 敬老会 (チアダンス KOBE DIVA)
- 10月 運動会 バイキング (おにぎり) お料理クラブ (ベビーカステラ)  
遠足 (淡路奇跡の星の植物館) (2名)
- 11月 バイキング (にぎり寿司) 下畑台小学校音楽会 (3名)
- 12月 クリスマス会 (体調不良者多数のため規模縮小)
- 1月 初詣 (垂水海神社) (2名) バイキング (天ぷら)
- 2月 節分豆まき バイキング (デザート) / お料理クラブ (トマト鍋)
- 3月 法人創立 20 周年記念食事会 (散らし寿司・天ぷら 他)  
ひなまつり (桃の木保育園来園)

※ルミナリエ、クリスマスランチパーティー等、感染症のため中止

- 誕生日祝い ご入居者ごとに担当者が企画 (ホームでのお祝い・外食・外出など)
- その他 エアロビクス・気功・音楽療法・喫茶・紙芝居・マジック療法  
カラオケ・華道クラブ・書道クラブ 他

#### 4. 事業所内職員研修

- 4月 感染症 (疥癬) について
- 5月 倫理について
- 6月 口腔ケアについて / AED について / ケアプランについて
- 7月 身体拘束・高齢者虐待について  
人を穏やかにさせる心理的療法 (外部研修報告)
- 9月 排泄ケア / 認知症 / 不適切ケアについて
- 10月 口腔ケア / 褥瘡予防  
中堅職員研修報告 (外部研修報告)  
ターミナルケア振り返り (2階)
- 11月 感染症 / 不適切ケア振り返り  
介護技術 (外部研修報告)
- 12月 法令遵守・職業倫理 (外部研修報告)  
感染症 (ノロウイルス) / 酸素・吸引器の使い方確認  
ターミナルケア振り返り (2階)
- 1月 事故対策 / ターミナルケアについて  
酸素・吸引器の使い方確認 (2階)
- 2月 認知症 / 事故対策  
酸素・吸引器の使い方確認 (3階)
- 3月 災害・緊急時の対応について / 消防設備確認  
不適切ケア振り返り (3階)

## 【サテライト特養 ももやまだい】

### <介護職員>

#### 1. 基本方針

##### [Aユニット]

- ・ ご入居者とのコミュニケーションは、担当を中心に意識的に行い、知り得た情報を記録したノートを活用し、共有する事が出来た。ご家族とも面会時には積極的に話をする時間を持ち、ご入居者の日常の様子、ケアの方法について説明をする事で理解を深めてもらえた。
- ・ 年間通して外部研修に参加する機会はほとんどなかった。毎月のユニット会議内で認知症や高齢者の医療についての研修を行い学びの時間を持った。

##### [Bユニット]

- ・ 様々なADL状況のご入居者がいる中で、それぞれの生活スタイルに完全に合わせることは困難であるが、基本的なケアのみにならないように努めた。また、自己決定を尊重するためにご入居者自身の行動をサポートするように努めた。
- ・ リハビリを中心にADL状況の変化に合わせてプランの変更、実施、振り返りを行った。ターミナル期のケアも経験し、職員一人一人の思いを振り返ることができた。
- ・ 認知症の方への関係作りを職員一人一人が積極的に行うことで円滑なケアへの介入が可能となった。日常の関わりの大切さを感じた。

##### [Cユニット]

- ・ 少しずつご入居者のADLに変化がみられてきている中、変化の早期発見、対応(ケアの見直し)に努めているが、情報の共有が出来ていない時もあり、発信力を向上していく必要がある。又、ご入居者一人一人の思いを受け止められるように、その時々で立ち止まり、関わるように努めた。
- ・ 法人全体での施設内研修、ユニット会議での職員研修、書物にて情報収集、職員間での知識・技術の教育等で、ケアの統一・充実に努めた。
- ・ ご入居者との信頼関係は構築してきているが、馴染みの関係が馴れ合いになってしまいうこともあり、ユニット会議等で定期的に意識づけを継続して行っていく必要がある。

#### 2. 介護計画・相談援助

- ・ プラン作成時、モニタリング時に必要な日常の記録が不十分であり、生活を読み取る事が困難だった。プラン立てした後の記録の大切さ、重要さを再度説明し周知徹底出来るよう努める。
- ・ 入所要件が原則要介護3以上となり、申込者数が減少している。その中でサテライトを希望される方が少なく、対応する職員数の不足もあり、入居に繋げること

が非常に厳しかった実感がある。

### 3. 行事・レクリエーション

- 4月 お花見 調理 (クレープ)
- 5月 遠足 (イオンジェームス山店 6名)  
調理 (みたらし団子/ゴマ団子) 押し花アート
- 6月 バイキング (デザート) 運動会 調理 (白玉ぜんざい/ホットケーキ)
- 7月 七夕 調理 (パフェ) 長井コーヒー実演
- 8月 花火大会 夏祭り 調理 (ホットケーキ) 外出 (マリソピア 2名)
- 9月 敬老会 (沖縄エイサー 肝美らさん) 調理 (たこやき) お月見
- 10月 調理 (ピザトースト)
- 11月 コントラバス演奏会 下畑台小学校音楽会  
調理 (ベビークラス) 運動会 (本体参加)
- 12月 ルミナリエ (2名) クリスマス会  
調理 (栗きんとん/クリームシチュー、ピラフ、サラダ/スイートポテト)
- 1月 調理 (たこやき)
- 2月 節分 調理 (どら焼き)
- 3月 ひなまつり 調理 (ぼたもち) 法人創立 20 周年記念食事会 (寿司)  
誕生日祝い ご入居者ごとに企画
- その他 エアロビクス・音楽療法 (かざみどり)・琴・マジック療法・  
華道クラブ・手芸 (押し花) 他

### 4. 事業所内職員研修

- 5月 酸素・吸引器の使い方 (Cユニット)
- 6月 口腔ケア/倫理について
- 7月 身体拘束と高齢者虐待/ケアプラン/酸素・吸引器の使い方 (Bユニット)
- 9月 認知症について
- 10月 褥瘡予防
- 11月 感染予防
- 12月 認知症について
- 1月 ターミナルケア
- 2月 ケアプラン/ターミナル振り返り (Bユニット)
- 3月 災害時の対応・消防設備確認

## 【医 務 室】

### 1. 健康管理

- ・嘱託医往診 (1回/週)
- ・協同歯科往診 (2~5回/月)
- ・皮膚科往診 (適宜依頼 19回/年)
- ・体重測定 (1回/月)
- ・血圧測定 (1回/週 降圧剤服用者2回/週  
ショートステイ利用者は入浴前施行)
- ・健康診断 (入居者10月/職員10月・3月)
- ・6月疥癬予防薬服薬 (職員16名/本体特養2階職員・看護師)
- ・11月インフルエンザ予防接種 (入居者74名、職員80名)
- ・肺炎球菌予防接種 (入居者1名/本体特養)

### 2. 入院・救急搬送

	入院件数	救急搬送件数
本体特養入居者	26 (前年比 △ 4)	12 (前年比 +5)
ショートステイ利用者	8 (前年比 + 4)	3 (前年比 +1)
サテライト特養入居者	9 (前年比 △ 7)	6 (前年比 +3)

4回入院した入居者 1名 (本体特養)  
2~3回入院した入居者 10名 (本体特養5名、サテライト特養3名、ショートステイ2名)  
入院件数は減少しているが、救急搬送件数が増加した。  
主な入院理由は、肺炎 (10件)、尿路感染 (7件)、イレウス (4件)、脳梗塞 (2件)、骨折 (2件)、吐血 (2件)、脱水 (2件)、心不全 (2件) 他

### 3. ターミナルケア 他

- ・特養2施設で退所者17名 (内ホームでの看取り7名/本体4名・サテ3名)
- ・緊急でのショートステイ受入1名
- ・胃瘻4名、鼻腔栄養1名、在宅酸素治療者3名

### 4. 感染症

- ・疥癬罹患12名発症 (本体入居者7名、職員5名)、ショートステイ利用者1名
- ・インフルエンザ罹患10名発症 (サテライト入居者2名・職員8名)
- ・感染性胃腸炎発症者17名 (本体入居者15名、職員2名)  
内ノロウイルス罹患4名

### 5. 研 修

平成27年10月15日 感染症についての施設内研修実施

外部研修への参加はできなかった。

#### 6. 業務について

- ・ 本体入居者のカーデックスの見直しを行い整理した。
- ・ 看護サマリーの見直しを行った。

#### 7. 機能訓練

リハビリメンバーを中心に毎月会議を行い、現在行っている内容の見直し・検討を実施した。

毎月担当職員が内容について評価し、継続・変更の見直しを行った。

#### 【管理栄養士】

1. 風邪などによる体調不良、食欲低下等の情報を多職種と共有し、ご利用者の状態に応じた食事の提供を本体特養、サテライト特養、デイサービス、グループホームにおいてその都度行うことができた。又、感染症を発症したご利用者に対しては、感染拡大防止のため隔離し、食事は居室配膳とし全て使い捨ての食器にて提供を行った。
2. ご利用者、ご家族の要望を伺った上で、個々の状態に合わせた栄養ケア計画を本体特養とサテライト特養で作成、計画に基づいたサービスの提供を行った。
3. 食中毒等の情報があれば必ず厨房職員に伝え注意を喚起、衛生管理に対する意識を高く持ってもらい、安全な食事の提供を行えるよう、整理・整頓・清掃を徹底するよう伝えている。
4. 行事食は毎月取り入れた。また本体特養では喫茶・バイキングをほぼ月に一度と昼食作り、おやつ作りを行った。ただし今年度は感染症流行のため喫茶やお料理クラブが予定通り行えないこともあった。サテライト特養とグループホームでは月に一度バイキング又は栄養士がご利用者の目の前でおやつを作る企画を行った。  
昼食のメニューがお好み焼きの際は、本体特養で数名ずつではあるがホットプレートを用いて焼きたてを提供した。

## 【桃山台ホームデイサービスセンター】

### 1. 処遇方針

- ・個々の状況を把握し、バイタルの小さな変動にも注意し受診を促すなどの対応が出来た。ケアマネや関係機関との連携も図り、状況に応じた支援が行えるようにした。
- ・環境整備を行い、歩行器やシルバーカーの使用がスムーズに行えるようにし、自身の足で少しでも歩けるように支援した。
- ・個々の性格や相性などを配慮し、座席などの配置に注意をしたが難しい時もあり不快に思われるご利用者があった。今後はテーブルの配置を変えるなども検討する。
- ・入浴される方に関しては、トレーニングを行ってから入浴するという流れを作り、殆どの方が参加できるようにした。入浴の無い方にも参加できるよう声掛けを行い身体機能の低下防止が図れるようにした。

### 2. 家族介護者教室

敬老会を開催し、ご利用者とご家族が一緒に楽しみながら参加できるように「笑いヨガ」を取り入れ気分転換をして頂いた。

### 3. 行 事

4月 2日 (木) ~ 6日 (月)	妙法寺川公園へお花見ドライブ
5月 5日 (月) ~ 15日 (金)	バーベキュー (ピクニックから変更)
8月 3日 (月) ~ 6日 (木)	夏祭り
9月 12日 (土)	敬老会
10月 13日 (火) ~ 16日 (金)	運動会
11月 6日 (金) ~ 12日 (木)	秋のドライブ
11月 24日 (火) ~ 12月 3日 (木)	買い物、喫茶外出
12月 21日 (月) ~ 25日 (金)	クリスマス会
1月 12日 (火) ~ 15日 (金)	新年会 (ちゃんこ鍋)
2月 16日 (火) ~ 18日 (木)	法人創立 20 周年記念食事会 (すき焼き)

### 4. 職員の技術及び資質向上について

4月	緊急 (災害)、事故防止、救急時の対応研修
9月	マニュアル見直し
12月	認知症、プライバシー保護 利用者健康管理研修
2月	高齢者虐待研修

## 【グループホーム桃山台】

### 1. 基本理念

- ・グループホーム基本理念のもと、家庭的な雰囲気を大切にし、ご入居者の個々のペースに合わせ、出来るだけ「その人らしい」生活が出来るように支援した。
- ・「自分史ノート」の記入が徹底できるように職員会議内で1ヵ月の目標を立てることで、記入についてはある程度出来ていたと思うが、「個々の想いや希望」を引き出すことは難しく、ケアプランに活用するまでには至らなかった。

### 2. 処遇方針

- ・家庭的な雰囲気を感じてもらえるよう、個々にあった家事のお手伝いをしてもらうと共に、残存機能を活かし役割を持つことで充実した日々が送れるよう支援した。
- ・四季を感じられる行事やリビングに掲示物を飾ることで、季節感を感じてもらえるように工夫した。
- ・個々で出来ること（食後の洗い物や、お盆拭き、タオル巻き等のお手伝い）を日課とし、自身の仕事とし携わることで意欲的な生活が送れるように支援した。
- ・毎食前の口腔ケア体操を継続して実施し、少しでも体を動かす場の提供を行った。
- ・職員会議内で、ご入居者個々の認知症状を話し合い、その時々でその方にあつた対応が出来るように心掛けた。
- ・毎日バイタルチェックを行い、体調管理に努めると共に、急な体調変化時も受診（往診）を行う事で長期に体調を崩すことなく過ごして頂けた。  
受診（往診）時は、ご入居者の日々の様子が分かるように担当職員が別紙に日々の様子や状態を記入し、担当医に現状を把握してもらうことで連携を図れるように努めた。
- ・ご入居者の様子は各担当から面会時や電話・メールにて随時連絡し、ご家族参加の食事会も開催、ピーチメールも年4回発行し施設での普段の様子を知ってもらえるよう努め、職員との信頼関係が築けるよう心掛けた。

### 3. 地域との交流・連携 その他

- ・小学校の行事や、気候の良い時期には散歩に出掛けたりしたが、ご入居者の身体状態の低下もあり施設敷地内の短い距離の散歩のみが増え、地域交流が難しいのが現状である。
- ・職員会議内で研修を開催し職員のスキルアップに努めた。法人全体の「身体拘束・高齢者虐待」とは別にグループホーム内でも研修を行うことで職員が継続して自身の勤務姿勢を振り返れるように努めた。

4月 感染症（疥癬）

5月 認知症ケアと介護の基本

6月 倫理について



- 7月 身体拘束・高齢者虐待防止
- 11月 認知症とケア ～ユマニチュード～
- 1月 認知症カフェ

#### 4. 主な行事

- 4月 近隣公園へ花見      7月 喫茶外出（ご入居者3人）
  - 2月 誕生日外出（ファミリーレストラン）  
法人創立20周年記念食事会（洋食コース）
- ご入居者の誕生日は当日にホールケーキを作りお祝いをした。